

令和4年度第1回逗子市地域包括支援センター等運営協議会会議概要

日 時：令和4年6月20日（月）

場 所：逗子市役所5階 第2会議室

出席者：阿部正明会長、松岡晃委員、大竹ひろ子委員、坂口敏子委員、押川哲也委員

欠席者：秋山禮二委員、畑中優宏委員、柴田元子委員

説明者：東部包括地域支援センター 金子管理者

中部包括地域支援センター 喜代門管理者

西部地域包括支援センター 高橋管理者

事務局：社会福祉課 堀田担当課長

高齢介護課 伊藤課長、栗飯原副主幹、青山主査、浅羽主任

傍聴者：0人

【議題】

- (1) 副会長の選出について
- (2) 令和3年度第1回～第3回書面会議の結果について（報告）
- (3) 各地域包括支援センターの令和3年度の事業報告・収支決算・自己評価について
- (4) その他

【議事概要】

議題（1）副会長の選出について

- ・坂口委員を推薦する声あり、全会一致で承認された。

議題（2）令和3年度第1回～第3回書面会議の結果について

- ・資料1に基づき事務局が説明。委員からの質疑無し。

議題（3）各地域包括支援センターの令和3年度の事業報告・収支決算・自己評価について

- ・資料2-1.2に基づき事務局が説明
- ・資料2-3.4.5に基づき東部地域包括支援センター管理者が説明
- ・資料2-6.7.8に基づき中部地域包括支援センター管理者が説明

- ・資料2-9.10.11に基づき西部地域包括支援センター管理者が説明

大竹委員：包括支援センターの方々には多くの業務を少ない人数で行うのはとても大変と思う。外に出てこない方、介護認定審査の対象となるまで見守りなど人の支援が入っていないという現実があると思うが、各包括での対応状況はいかがか

東部包括：地域ケア会議で相談内容等の情報共有、おたがいさま活動の情報収集、地域を回っての声かけをしている。

中部包括：おたがいさま活動に同行、民生委員と協働して「つながるはがき」を実施して返信のあった方を訪問するなど工夫をした。

西部包括：民生委員と情報交換、掲示板、ポスティング等実施しているが全ては拾えない。

押川委員：東部の夜間対応は必要と考えるが、携帯電話が普及し、深夜でないと相談できないという方は少ないと思う。制度上いつでも相談できることは必要だが、ニーズとしてはいかがか。

東部包括：留守電対応しているが、週で日曜の昼1～2件あるが、夜間はほぼないため需要は多くないと思われる。

大竹委員：基幹型包括支援センターとして複合的な課題や他課からの情報はいかがか

事務局：社会的な課題、ごみやしき、高齢者の把握など地域からの情報があり各包括へつないでいる。子育て・障がいからの相談はなく各課対応しており、庁内の連携体制の充実は今後の課題

会長：西部包括のオンライン相談の状況はいかがか

西部包括：使用者側はオンラインに慣れてきているが、実際に相談には使用していない。

中部包括：オレンジカフェをリモートで実施した。

東部包括：メールやオンラインでの相談はない。

坂口委員：民生委員として包括支援センターの活動は大変助かっている。今後も共同して地域の情報共有をお願いする。

議題（４）その他

事務局から次回の会議予定を報告。1月更新事業者1件、3月末更新事業者1件あるため会議を開催する予定である。

また今後のコロナウィルス感染状況により書面による開催もあり得ると考える。

以上